

村山史世（地域環境政策） 川上泰（環境生物学）

研究の背景

昨年度まで「SDGsを活用したサイエンス・ショップ」の活動を通じて、地域の多様な人々と連携して里山や公園をフィールドに大きな成果をあげることができました。

神奈川内の県立公園の3分の2の指定管理者である（公財）神奈川県公園協会と協働で生物多様性情報のデジタルプラットフォームであるiNaturalistを活用したワークショップを企画・実施しました。

従来から活動している相模原市緑区青根では、炭窯を復活させて、91歳のもと炭焼き職人の指導の下、木炭生産を試行しています。



アプローチ

公園や里山の活動をより多くの人を巻き込みながら、より大きな社会的インパクトを与えるため、そして活動の継続性のために、活動の事業化の検討を、（株）さがみはら産業創造センターと連携して実施します。

事業化を検討する地域活動としては「iNaturalistを活用した生物多様性の自分事化プロジェクト」、「青根産の木炭づくりから地域循環を産み出す『あおねずみ』プロジェクト」、「農業用水を活用した小水力発電プロジェクト」を実施します。



期待される結果

以上の3つのプロジェクト以外にも、参加学生との対話を通じて新たなプロジェクトを企画・実施することも可能です。

参加学生は、大学の中では出会えない人（企業や自治体・公益団体、地域住民と協働し、大学関係者だけでは実現不可能なプロジェクトを動かすことで、現実世界の手触りを体験できます。

アプリやGISのようなデジタルツールも、炭焼きや水路整備のようなアナログな活動も、両方とも体験できます。

地域活動を社会実装は出来ても、出来なくても、特別な経験と主体的に考えて、行動する機会を得られます。



募集方法

まず、質問や要望をmurayama@azabu-u.ac.jpまで問い合わせてください。面談をします。

プロジェクトを理解し、意欲と志とオープンマインドを持つ学生を歓迎します。

